

## 川辺で見た、胸がオレンジ、背中が青色の小さい鳥は、何鳥なの

### 水中で魚をとらえるカワセミ

川辺にいて、胸がオレンジ、背中が青色のスズメぐらいの鳥というと、カワセミしかいません。カワセミは、春先や秋には、川の水面すれすれに飛びながら、水中の魚をとらえる姿が、よく見られます。人が近づくと、ピーとするとい声で鳴いてにげます。ふつうは、川にのびた枝にとまり、じっと水中の魚をねらい、見つけると、深い川ならくちばしを真下にして、一直線に水中に飛びこみ、魚をくわえて飛び出していきます。

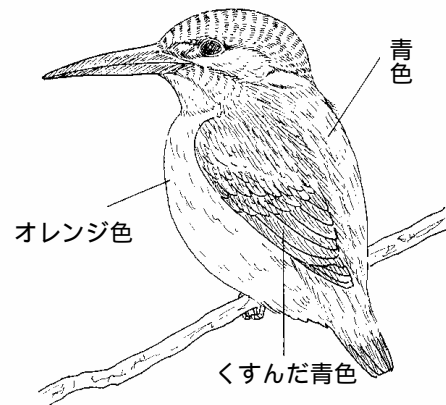
魚が6～10センチメートルもある大きいものなら、生きたままでは飲みこみにくいため、木の枝や大きな石などに魚の頭を何回も打ちつけ、魚が死んでから飲みこみます。

### カワセミの観察をしてみよう

カワセミが、いつもとまっている木の枝は、ふんで白くよごれていますし、いつも魚を打ちつけるのに使う枝や石は、魚のうろこがついています。川辺を探して、そんな枝などを見つけたら、カワセミの観察がしやすくなります。

カワセミは、春、川べりの土手などに横穴をほり、卵を産み、とってきた魚で、ひなを育てます。

近ごろは、土手がコンクリートで固められて、巣作りができなくなってきました。そこで、最近では、巣作りができるように、コンクリートに巣穴用のトンネルを開けておくなどの、工夫がされるようになりました。（監修・中山 周平）



カワセミ

